

23日 土曜

へブル

11:17 信仰によって、アブラハムは試みを受けたときにイサクを献げました。約束を受けていた彼が、自分のただひとりの子を献げようとしたのです。

11:18 神はアブラハムに「イサクにあって、あなたの子孫が起こされる」と言われましたが、

11:19 彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えました。それで彼は、比喩的に言えば、イサクを死者の中から取り戻したのです。

11:20 信仰によって、イサクはやがて起こることについて、ヤコブとエサウを祝福しました。

11:21 信仰によって、ヤコブは死ぬときに、ヨセフの息子たちをそれぞれ祝福し、また自分の杖の上に寄りかかって礼拝しました。

11:22 信仰によって、ヨセフは臨終のときに、イスラエルの子らの脱出について語り、自分の遺骸について指示を与えました。

11:23 信仰によって、モーセは生まれてから三か月の間、両親によって隠されていました。彼らがその子のかわいいのを見、また、王の命令を恐れなかったからです。

11:24 信仰によって、モーセは成人したときに、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒み、

11:25 はかない罪の楽しみにふけるよりも、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。

11:26 彼は、キリストのゆえに受ける辱めを、エジプトの宝にまさる大きな富と考えました。それは、与えられる報いから目を離さなかつ

たからでした。

11:27 信仰によって、彼は王の憤りを恐れることなくエジプトを立ち去りました。目に見えない方を見ているようにして、忍び通したのです。

11:28 信仰によって、彼は長子を滅ぼす者が自分たちに触れることがないように、過越の食事をし、血を振りかけました。

11:29 信仰によって、人々は乾いた陸地を行くのと同じように紅海を渡りました。エジプト人たちは同じことをしようとしましたが、水に?み込まれてしまいました。

11:30 信仰によって、人々が七日間エリコの周囲を回ると、その城壁は崩れ落ちました。

11:31 信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な者たちと一緒に滅びずにすみました。

アブラハムはイサクをささげましたが、それはいけにえとして殺すことを意味します。神様はそれを受け取り、イサクを殺すことはありませんでしたが、彼の信仰をよとされました。アブラハムは「神には人を死者の中からよみがえらせることもできる」と考えたのです。それはイエス様をご自身をいけにえとしてささげられたことと、死からよみがえられたことの雛形（ひながた）であるというわけです。

このように信仰に生きることは、イエス様の真理を表すことになります。主を証ししよう、伝道したいと思うなら、言葉も必要ですが、信仰の生き方もまた不可欠であり、大きな力になります。

またモーセがなぜあのような困難な神のプロジェクトに立ち上がったかということ、それは信仰です。「報いとして与えられるもの」を見るのができ、それから「目を離さなかつた」からです。信仰は正しい歩みに希望を与えてくれるものです。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

